



かがやく 150 周年 ここから未来へとび立て 平和 希望 努力の 小原田っ子

「平和 希望 努力」小原田小だより

令和6年度 No.17
令和6年7月22日
郡山市立小原田小学校
文責 校長 佐久間誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

1 学期、頑張ったことを発表しました！

71日間の1学期を振り返って、5年代表児童が作文発表をしました。高学年としての委員会活動や特設活動に対する思いや、6年生に対する思いが表現されていたので、紹介します。

「1学期をふり返って」

私が、この1学期に一番がんばったことは、放送委員会の活動です。初めは何も分からず苦勞しました。でも、6年生が、放送室の機械の動かし方やCDのセッティングの仕方などを、やさしく分かりやすく教えてくれたおかげで、今では、一人で機械を自由に動かせるようになりました。放送で原こうを読む時に、なるべく明るくはっきりと話そうと思えるようになったのも、6年生のおかげです。これからも、6年生をお手本にしながら、がんばっていきたいと思います。

他にも、私は特設音楽部の活動もがんばりました。発声練習の時に、みんなの前に出るのは、きんちょうするけれど、大きくきれいな声が出せるように、2学期も引き続き心がけていきたいと思います。

夏休みに、私が楽しみにしていることは、山形県の波の出るプールに行くことです。仙台に住んでいる、私のおじさん、おばさんといっしょに波に乗ったり、ウォータースライダーをしたりするのが、今からとても楽しみです。

37日間の夏休み。毎日、楽しく元気に過ごし、思い出に残る最高の夏休みにしたいと思います。

1 学期終業式の中で、子どもたちに話したこと



1学期終業式の中で、1学期にうれしく思ったことを話しました。

- 運動会をはじめとし、全校集会や委員会活動で6年生が一生懸命の姿を見せてくれたこと。6年生の「一生懸命」を全校生で真似してほしいこと。
- 大きな事故や大きなケガなく、安全で元気に過ごすことができたこと。



次に、夏休みに守ってほしいことをお願いしました。

- 1 規則正しい生活をおくってほしいということ。
- 2 計画的に学習や運動に取り組んでほしいということ。
- 3 「命を大事にする」ということ、つまり「事故にあわない」で安全に過ごすということ。



一番大切なものは「命」です。夏休みになると、毎年のように子どもの痛ましい事故の報道を聞き、悲しい気持ちになります。

子どもたちが「自分の命は自分で守る」ことができるように、ご家庭でも夏休みの生活の仕方をお確かめください。

事故なく、安全で楽しい夏休みを！

